

岡山市広報連絡資料





令和7年5月22日

坪田譲治文学賞受賞作家の乗代雄介さんによる 写生文ワークショップ第1回を開催します

第37回坪田譲治文学賞を受賞し、最新作「二十四五」が芥川賞候補にもなった乗代雄介(のりしろ・ゆうすけ)さんを講師に迎えた写生文ワークショップ第1回を実施します。本事業は、作家が岡山市に滞在し、取材・執筆する「おかやまライター・イン・レジデンス」の取組の一環です。

1 日 時

令和7年5月31日(土)13時~16時30分

※開催は全3回。第2回は9月20日(土)、第3回は令和8年3月に開催予定

2 場 所

岡山県立博物館 講堂(北区後楽園) 岡山城周辺(北区丸の内二丁目)

3 内容

事前に申し込んだ約30人が参加し、乗代さんが普段から行っている「文章での風景スケッチ」 の方法を学びます。岡山県立博物館講堂での講義と岡山城周辺でのスケッチを予定しています。

○当日の流れ(予定)

- 13:00 集合、小説等での風景描写について講義
- 14:00 岡山県立博物館を出発、岡山城周辺にて文章での風景スケッチを実施
- 15:00 岡山県立博物館に戻りスケッチの推敲
- 16:30 終了

4 乗代雄介さんプロフィール

1986年北海道生まれ。法政大学社会学部メディア社会学科卒業。2015年「十七八より」で第58回群像新人文学賞を受賞し、デビュー。2018年『本物の読書家』で第40回野間文芸新人賞受賞。2021年『旅する練習』で第34回三島由紀夫賞受賞、第37回坪田譲治文学賞受賞。2023年『それは誠』で第40回織田作之助賞受賞、令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2024年『二十四五』で第172回芥川賞候補。







5 おかやまライター・イン・レジデンスについて

文学分野で活躍する作家を岡山市に招き、市内に滞在して行う取材・執筆活動を支援するもので、令和5年度から作家 乗代雄介さんを招へいしています。

乗代さんは、岡山市に滞在し、作品執筆に向けた取材を行うとともに、ワークショップを実施します。

○令和7年度滞在スケジュール(予定)

第1期:5月下旬~6月上旬、第2期:9月中旬~下旬、第3期:令和8年3月中~下旬

○これまでの活動について

令和5~6年度の滞在により執筆されたエッセイが次の媒体に掲載されています。

- ・小学館の文芸サイト「小説丸」(https://shosetsu-maru.com/)の連載「風はどこから」 第9回
- ・おかやま文学フェスティバル2024リーフレット vol.3
- ・文学情報誌「うったて」創刊号『商店街に、無限の声が満ちている』(2024 年 9 月 30 日 発行)
- ・文学情報誌「うったて」第2号『音の記憶』(2025年2月28日発行)
- ・「風景を綴る―写生文ワークショップ作品集」序文(2025年3月2日発行)

【問い合わせ先】

岡山市文化振興課 山下・上林・流尾 電話番号: 086-803-1054 内線3746



3 期生募集中



書いた文章は、講師・参加者みんなで鑑賞し合います。
「文章を書くこと」に関心のある方は、ふるってご応募ください。

乗代雄介氏 (のりしろ ゆうすけ)

講師

1986年北海道生まれ。法政大学社会学部メディア社会学科卒業。2015年『十七八より』で第58回群像新人文学賞を受賞し、デビュー。2018年『本物の読書家』で第40回野間文芸新人賞受賞。2021年『旅する練習』で第34回三島由紀夫賞受賞、第37回坪田譲治文学賞受賞。2023年『それは誠』で第40回織田作之助賞、令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2024年『二十四五』で第172回芥川賞候補。その他の著書に『最高の任務』、『皆のあらばしり』、『ミック・エイヴォリーのアンダーパンツ』、『掠れうる星たちの実験』など。



写真提供:新潮社

対象メールで連絡ができ、屋外活動ができる方

※18歳未満の方は、保護者の承諾を得ていること ※途中からの参加は不可。全3回通じての参加が望ましい

日時 第1回 5月31日(土) 13時~16時30分 第2回 9月20日(土) 第3回 2026年2~3月(予定) ※第2·3回は9時30分~16時(予定) ※第3回の日程は後日お知らせします

会場 第1回 岡山城周辺 (岡山市北区丸ノ内二丁目3-1) ※集合場所と第2~3回会場は、参加者のみに連絡します

料金 無料

定員 **30名程度** 参加の可否は、志望動機等の選考により決定します ※選考に関する質問にはお答えできませんので、ご了承ください

申込 右記の二次元バーコードからお申込みください

申込締切/2025年4月28日(月) 13時 ※参加の可否は5月8日までにメールにて連絡します

